

日本自伝文学の最高峰！

自叙傳

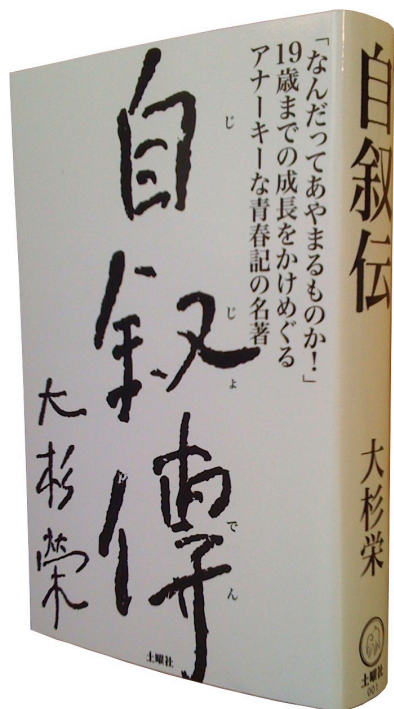
大杉栄のリズミカルな文体が冴える青春文学の隠れた傑作！

1921年、改造社・山本実彦の求めに応じて弱冠36歳で連載を起すも、翌々年の関東大震災下の「甘粕事件」により、未完で遺された。

「天皇に弓をひいた謀叛人」西郷南洲に肩入れしながら、未来の陸軍元帥を志す一腕白少年が、日清・日露の戦役にはさまれた「坂の上の雲」の時代を舞台に、自由を欲して、生を拡充していく。

終生2人の尾行に追われ続けた日本アナキズムの巨頭・大杉栄の、恩師や友人・家族にむけるまなざしのなんと優しいことか！

森鷗外の『キタ・セクスアリス』と比肩しうる稀有な性の文学作品でもある。



- >書名 自叙傳
>読み jijyō でん
>著者 大杉栄〈おおすぎ・さかえ〉
>解説 大杉豊〈おおすぎ・ゆたか〉
>装丁・本文組版 豊田卓〈とよた・すぐる〉
>読者対象 青春文学、政治思想、社会運動の読者・学生・研究者
>もくじ 最初の思い出／少年時代／不良少年／幼年学校時代／新生活／母の思い出／お化けを見た話／略年譜／解説（大杉豊）
>仕様 ペーパーバック判（172 × 112 mm） 304ページ
>発売 2011年9月16日（大杉栄の命日）
>予価 952円（税別）
>ISBN 978-4-9905587-1-0
>関連書籍 『日本脱出記』（大杉栄著、土曜社、2011年）ほか

土曜社



書評用画像・見本・解説者取材の依頼など、心よりお待ちしております。

土曜社 150-0034 渋谷区代官山町14-6テル301
宣伝担当：豊田剛（とよた・つよし） tsuyoshi.toyota@doyosha.com
t. 090-9818-1367 f. 03-6369-3339 www.doyosha.com